

『国際交流委員会』

中井 明徳

今年度は、次のように目標を定め活動を行った。

『自律』参加者の感想や振り返りをフィードバックし、国際交流への意識を高め、参加を促進する。

『挑戦』デービス校生徒と課題研究する。
E S S 部でコンテストに参加する。

『思いやり』様々な国の言語や文化に触れることを通して、違いを認めたり、自他を尊重したりする心性を育む。



<今年度の主な活動>

(1) デービス高校との姉妹校交流

本校は、国際理解教育に力を入れ、国際交流を積極的に推進している。本校の前身の一つである県立児島高等学校が平成9年にアメリカ合衆国カリフォルニア州にある市立デービス高校と姉妹校縁組みをして以来、現在まで関係が続いており、隔年で相互に生徒の交換留学をしている。今年度は、3月にアメリカデービス校へ派遣の予定だったが、新型コロナウイルス感染症等諸事情により、派遣することはできていない。来年度以降、現在のところ見通しが立っていない。

また、今年度も例年実施している年賀状の交換を行った。12月、1年次生がデービス校の生徒に向けての年賀状を作成し送付した。それを受けてデービス校からの返信を受け取った。

生徒は、英語で年賀状をやりとりすることに対して難しさを感じるところもあったが、みんな楽しく取り組むことができたようである。

(2) 長期留學生の受入れについて

9月から来年6月までの期間、WYS 教育交流日本協会の長期留學生としてフランスより Capucine Lena BOUVIER URIET さんを受け入れた。コロナ禍により来日がたびたび延期されて、Capucine さんのみならずホストファミリーのご家庭にもご心配やご迷惑を掛けたが、ようやく実現した。

本校では2年1組に入りクラスの生徒とともに学校生活を送っている。また、茶道部に入学し日本文化も学ぼうと熱心に活動している。学校での生活はもちろんだが、日本で、岡山大、倉敷児島で、倉敷鷺羽高校でいろいろなことを経験してもらえたらいいと思う。

(3) その他の活動

今年度、岡山県国際交流協会企画情報課主催「第1回留學生と県民との交流会」、岡山県教育委員会主催「留学促進フェア OKAYAMA2022」、文部科学省「トビタテ！留学 JAPAN」、AIG 高校生外交官プログラム事務局「AIG 高校生外交官プログラム」などへの参加等はできなかったものもあるが次年度には参加させたい。

